

安全性データシート

改定日: 2023年5月27日

前作成日: 2020年8月27日

SDS番号: 126-20

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

900 GoldEnd™ ペースト

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 非硬化性、成形可能な乾燥ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)スレッドシール剤および潤滑剤です。

使用上の制限: 情報なし

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: www.chesterton.com

Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com

Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]による分類

GHSによれば、本製品はいずれの危険物クラスにおいても分類基準を満たしていません。

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHS/欧州規制1272/2008 [CLP]によるラベル付け

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

260°C以上に加熱するとパーフルオロカーボン樹脂は蒸気を発生し、これを吸引するとインフルエンザのような症状を一時的に起こすことがあります。熱分解すると炭素、フッ素、酸素を含有する酸化物を生成します。ACGIH(米国産業衛生専門家会議)は本製品の有毒性の調査中で、許容限界を規定していませんが、濃縮空気は最低限に抑えてください。同様に本製品使用中は喫煙しないでください。煙草製品の汚染を避けてください。

セクション 3: 組成、成分情報**3.2. 混合物**

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類	特定の濃度制限、Mファクター、ATE
メタノール	0.1 - < 0.3	67-56-1	引火性液体 2, H225 急性毒性 3, H301/311/331 STOT 単回暴露 1, H370 眼刺激性 2A, H319	STOT SE 1; H370: C ≥ 10 % STOT SE 2; H371: 3 % ≤ C < 10 % ATE (経口): 100 mg/kg ATE (経皮): 300 mg/kg ATE (吸入、蒸気): 3 mg/l
その他の成分:				
タルク*	20 - 30	14807-96-6	分類されていません**	入手不可
脂肪酸、獣脂、メチルエステル、塩素化合物	10 - 15	68440-29-9	分類されていません	入手不可
二酸化チタン*	5 - 10	13463-67-7	分類されていません*	ATE (経口): 10,000 mg/kg ATE (経皮): > 10,000 mg/kg ATE (吸入、粉塵): > 6.82 mg/l
白色鉱油(石油)	5 - 10	8042-47-5	分類されていません*	ATE (経口): > 5,000 mg/kg ATE (経皮): > 2,000 mg/kg ATE (吸入、ミスト): > 5 mg/l

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

*本製品に含まれるタルク、二酸化チタンは粉末状ではないので、通常の使用では危険はありません。

**職場での暴露限界のある物質。

¹分類基準: * 労働安全衛生法

* 毒物および劇物取締法

* GHS, 1272/2008/EC, REACH

セクション 4: 応急処置**4.1. 応急処置情報**

吸入: 適応せず

皮膚への付着: 石鹼水で皮膚を洗浄してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

目に入った場合: 大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。

呑み込んだ場合: 適応せず

応急手当を行う人の保護： 予防策は特になし。

4.2. 最も重要な徴候と影響（急性および遅延）

長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤： 二酸化炭素、乾燥薬品、発泡、水霧

不適切消火剤： ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物： 熱分解すると塩化水素その他の有毒煙を発生する可能性があります。

その他の危険性： 特記事項なし

5.3. 消防の際のアドバイス

有害な分解物から身体を保護するために、消防士に自己収容型呼吸器と消火用保護装置一式の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置

6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

適切な廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いのための注意

有毒分解するのでPTFE製品の取扱い中は喫煙しないでください。煙草製品の転移を避けるために使用後手を洗ってください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置					
8.1. 管理パラメーター					
成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV		
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³	
メタノール	200	260	200	(皮膚)	
			STEL:	250	
タルク (非アスベスト線維集合体)	N/A	0.5 (吸引可能)	(吸引可能)	2	
		2 (総塵)			
脂肪酸、獣脂、メチルエステル、塩素化合物	N/A	N/A	N/A	N/A	
二酸化チタン	(吸引可能)	1	N/A	10	
	(総塵)	4			
白色鉱油 (石油)	N/A	3	(オイルミスト)	5	
生物学的限界値					
メタノール:					
制御パラメータ	生体試料	サンプリング時間	限界値	源泉	注
メタノール	尿	作業終了時	20 mg/l	日本産業衛生学会	-
8.2. 曝露制限					
8.2.1. 設備対策					
条件は特になし。超高温で使用する場合は、局所排気装置を使用してください。					
8.2.2. 作業員の保護対策					
呼吸器系の保護: 通常不必要。					
手袋: 耐薬品性手袋 (例: ネオプレン)					
目 / 顔の保護: 安全メガネ					
その他: なし					
8.2.3. 環境暴露措置					
セクション6と12を参照。					

セクション 9： 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	ペースト	pH	適応せず
色	白	動粘	未定
臭気	かすかな石油臭	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数：n-オクタノール/水 (Log Pow)	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	適応せず	20・Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	適応せず	相対密度	1.387 kg/l
揮発率%(容量比)	ごくわずか	蒸気密度(空気=1)	> 1
引火性	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/ 低爆発限界	未定	重量比芳香物含有率(%)	未定
引火点	未定	爆発性	未定
方法	-	酸化性	未定
自己発火温度	未定	粒子特性	適応せず
分解温度	未定		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10： 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

260° C 以上の超高温。

10.5. 配合禁忌薬品

液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

塩化水素その他の有毒煙、260° C 以上の温度ではパーフルオロカーボン樹脂煙。

セクション 11： 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路： 皮膚や目への付着。

急性毒性 -

経口： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
メタノール	致死量50(LD50)、ラット	5,628 mg/kg
メタノール	人体致死量	143 mg/kg

経皮： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
メタノール	最小致死量、猿	393 mg/kg

吸入： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
メタノール	最小致死濃度、猿	1.3 mg/l
メタノール	致死濃度50(LC50)、マウス、134分	79.43 mg/l

皮膚腐食性/刺激性： 長時間あるいは繰り返し皮膚に付着すると、皮膚にかすかな刺激を与えることがあります。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 目に入るとかすかな刺激を与えることがあります。

呼吸器または皮膚の感作： 過敏症を起こさないとされています。

胚細胞突然変異原性： メタノール: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。タルク、エイムズ試験: 陰性。

がん原性： 国際がん研究機関(IARC) は吸引された二酸化チタンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。本製品内の二酸化チタンは混合物から分離したり空気中で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性： 生殖毒性物質ではないとされています。

STOT - 単回暴露： メタノール: 臓器の障害。

STOT - 反復暴露： タルクの粉塵を長時間あるいは繰り返し吸引すると、慢性の咳、息切れ、肺の損傷(肺線維症)、軽い塵肺の症状を起こすことがあります。本製品に含まれるタルクは粉末状ではないので、通常の使用では危険はありません。

吸引性呼吸器有害性： 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

既知の影響なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

タルク: 24 時間 致死濃度50(LC50) (対魚) > 100 g/l.

12.2. 持続性・分解性

タルク、二酸化チタン: 無機物質。脂肪酸、獣脂、メチルエステル、塩素化合物、白色鉱油(石油): 本来生分解性、容易に生分解しません。メタノール: 直ちに生分解可能とされています。

12.3. 生物蓄積の可能性

メタノール: 生体内蓄積の可能性低(BCF < 100)。

12.4. 土壤中の移動性

ペースト。非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。未使用の製品は2008/98/ECで危険廃棄物に指定されていません。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令**15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規**

日本PRTR	クラスI薬品:	クラスII薬品:
	なし	なし
その他の国内規制:	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法) 優先評価化学物質: メタノール 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: メタノール(表示の対象となる範囲[重量%]: ≥ 0.3) 無臭、白色鉱油(石油) 危険物(分類: 引火性の物): メタノール 第二種有機溶剤等: メタノール 作業環境評価基準で定める管理濃度: メタノール、200 ppm 毒物及び劇物取締法 劇物: メタノール 大気汚染防止法 特定物質: メタノール	

セクション 16: その他の情報

略語一覧： ACGIH: 米国産業衛生専門家会議
 ADN: 内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE: 急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 CLP: 分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)
 GHS: 世界調和システム
 ICAO: 国際民間航空機関
 IMDG: 国際海上危険物規定
 LC50: 試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50: 試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL: 最小作用量
 NOEC: 最大無作用濃度
 NOEL: 最大無作用量
 N/A: 該当せず
 PBT: 難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL: 許容暴露限度
 REACH: 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)
 RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS: 安全性データシート
 STEL: 短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV: 暴露限界
 vPvB: 極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典： 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)
 化学分類および情報データベース(CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

分類:	分類手順
適応せず	適応せず

関連するH(危険)-ステートメント: H225: 引火性の高い液体および蒸気。
 H301/311/331: 飲み込んだり皮膚に接触したり吸入すると有毒。
 H319: 強い眼刺激。
 H370: 臓器の障害。

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: セクション 1.1, 1.2, 3.2, 8.1, 9.1, 11.2, 12.6, 16.

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。